



アイヌの美しき手仕事

The Beauty of Ainu Handiwork

2020年9月15日(火)～11月23日(月祝)

□10時～17時 □月曜休館（祝日の場合は開館し翌平日休館） □主催・日本民藝館、日本経済新聞社 □出品協力・静岡市立
芹沢銈介美術館 □写真・木綿切伏刺繍衣裳（部分） 北海道アイヌ 19世紀 日本民藝館蔵 □<http://www.mingeikan.or.jp/>

日本民藝館



①



②



③



④



⑤



⑥

当館創設者の柳宗悦(1889-1961)は、アイヌ民族の工芸文化に早くから着目し、1941年には美術館で最初のアイヌ工芸展となる「アイヌ工芸文化展」を当館にて開催しています。その際に染色家の芹沢銈介(1895-1984)は、同展の作品選品や展示を任されており、自身もアイヌの手仕事を高く評価し蒐集しました。本展では、当館の所蔵する柳のアイヌコレクションに加え、芹沢のアイヌコレクションも紹介し、併せて「アイヌを最上の姿で示した展覧であった」と柳が評した1941年の展示を一部再現します。

オヒョウやイラクサなどの靱皮繊維で織られた衣裳や、本州から渡った古い木綿に切伏や刺繍を施した衣裳、そして幾何学文様が魅

力的な刀掛け帯、アイヌ玉の首飾、儀礼の際に用いられる木製のイクパスイなど、アイヌの手仕事には細部にまで豊かな想像力や深い精神性、そして卓越した造形力がみなぎります。柳がアイヌの工芸から受けた「真実なものへの強い感銘」を本展を通して共有することで、民族の多様性を尊重する社会へと繋ぐことができれば幸いです。

①イラクサ地切伏刺繍衣裳(テタラベ) 丈116cm 樺太アイヌ ②赤モスリン地切伏刺繍衣裳 丈127.5cm ※本作品は10月18日(日)までの限定公開です ③刀掛け帯(エムシアツ) 静岡市立芹沢銈介美術館蔵 ④首飾り(タマサイ) 部分 ⑤煙草入れ(オトホコホベ) 高7.0×横12.0cm 静岡市立芹沢銈介美術館蔵 ⑥碗(チェベニバボ) 7.3×31.4cm 樺太アイヌ

[表記のないものは全て日本民藝館蔵]

※今後の状況により、展覧会予定に変更が生じる場合がございます。最新情報及び当館の感染防止対策については、当館ホームページ(<http://www.mingeikan.or.jp>)をご確認下さい。

※西館(旧柳宗悦邸)公開、講演会などのイベントは当面の間中止いたします。

□開館時間・10:00-17:00(入館は16:30まで) □休館日・月曜(祝日の場合は開館し翌平日休館) □入館料・一般1,100円 大高生600円 中小生200円 □〒153-0041 東京都目黒区駒場4-3-33 □Tel.03-3467-4527 □京王井の頭線駒場東大前駅西口より徒歩7分

<http://www.mingeikan.or.jp/>

日本民藝館

